



平成29年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月14日

上場取引所 東

上場会社名 日本農業株式会社

コード番号 4997 URL <http://www.nichino.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 友井 洋介

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部総務部長

(氏名) 飯島 豊和

TEL 03-6361-1400

四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年9月期第1四半期の連結業績(平成28年10月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第1四半期	12,817	72.0	△388	—	△216	—	△581	—
28年9月期第1四半期	7,450	△21.4	△1,035	—	△1,414	—	△1,135	—

(注) 包括利益 29年9月期第1四半期 2,346百万円 (—%) 28年9月期第1四半期 △1,832百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第1四半期	△8.70	—
28年9月期第1四半期	△16.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年9月期第1四半期	96,006	50,542	49.4
28年9月期	88,791	48,697	52.1

(参考) 自己資本 29年9月期第1四半期 47,447百万円 28年9月期 46,286百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期	—	7.50	—	7.50	15.00
29年9月期	—	—	—	—	—
29年9月期(予想)	—	7.50	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年9月期の連結業績予想(平成28年10月1日～平成29年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
第2四半期(累計)	35,700	19.0	4,000	△20.2	3,700	△18.2	2,500	△14.8	37.40
通期	59,500	17.5	3,900	△11.9	3,600	△6.9	2,200	112.5	32.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年9月期1Q	70,026,782 株	28年9月期	70,026,782 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

29年9月期1Q	3,189,128 株	28年9月期	3,189,034 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年9月期1Q	66,837,700 株	28年9月期1Q	66,838,402 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業の生産活動と収益が持ち直すとともに、雇用情勢の改善により個人消費が底堅く推移するなど緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、景気の先行きは米国新政権の経済運営の影響などの世界経済の不確実性の高まりや金融資本市場の変動の影響など依然として不透明な状況にあります。

当社グループの第1四半期実績は、中核事業である農薬事業の過半を占める北半球での販売が不需要期にあたる季節的要因から、他の四半期実績に比べ相対的に売上高、利益ともやや低い水準に止まる傾向があります。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、前連結会計年度末に連結子会社化したブラジルのSipcam Nichino Brasil S.A.の業績を当第1四半期より連結業績に含めたこともあり、128億17百万円（前年同期比53億66百万円増、同72.0%増）となりました。利益面では、営業利益は△3億88百万円（前年同期比6億47百万円増）、経常利益は△2億16百万円（前年同期比11億97百万円増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は△5億81百万円（前年同期比5億53百万円増）となりました。

当第1四半期連結累計期間における報告セグメントの概況は以下のとおりです。

[農薬事業]

国内農薬販売では、園芸用殺虫剤「フェニックス」、「コルト」を始めとする主力自社開発品目の普及拡販に努めました。また、農薬原体販売では園芸用殺虫剤「コテツ」、「ハチハチ」などの当用期に向けた販社への荷動きが早まり、国内販売全体の売上高は前年同期を上回りました。

海外農薬販売では、米州での販売が好調に推移しました。品目別では、取引価格が高く推移した棉の作付面積が拡大したことなどから、Nichino America, Inc.の主力品目である棉落葉剤「ET」の売上高が伸長しました。また、Sipcam Nichino Brasil S.A.の業績を当社の連結業績に含めたこともあり、為替は円高基調で推移したものの、海外販売全体の売上高は前年同期を上回りました。

これらの結果、農薬事業の売上高は117億45百万円（前年同期比53億65百万円増、同84.1%増）となり、営業利益は△3億92百万円（前年同期比6億44百万円増）となりました。

[農薬以外の化学品事業]

化学品事業では、シロアリ薬剤の販売が好調に推移しました。また、緑化薬剤の売上高も前年同期を上回りました。一方、医薬品事業では、販売競争の激化などから外用抗真菌剤「ラノコナゾール」の販売が伸び悩みました。

これらの結果、農薬以外の化学品事業の売上高は6億72百万円（前年同期比29百万円減、同4.2%減）となり、営業利益は1億24百万円（前年同期比17百万円増、同15.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ72億15百万円増加し、960億6百万円となりました。これは、現金及び預金の減少を上回るたな卸資産及び売上債権の増加が主な要因です。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ53億70百万円増加し、454億63百万円となりました。これは、仕入債務の増加が主な要因です。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ18億44百万円増加し、505億42百万円となりました。これは、四半期純損失及び配当金の支払いによる利益剰余金の減少があったものの、為替換算調整勘定等のその他の包括利益累計額が増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年9月期の連結業績予想につきましては、平成28年11月14日公表の連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,159	12,918
受取手形及び売掛金	19,465	21,037
電子記録債権	603	240
商品及び製品	10,065	13,414
仕掛品	454	709
原材料及び貯蔵品	4,273	5,786
その他	3,741	5,140
貸倒引当金	△418	△470
流動資産合計	53,344	58,777
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,565	5,751
機械装置及び運搬具(純額)	3,553	3,682
土地	6,354	6,461
その他(純額)	1,018	798
有形固定資産合計	16,491	16,694
無形固定資産		
のれん	7,150	7,838
その他	978	1,096
無形固定資産合計	8,128	8,935
投資その他の資産		
投資有価証券	6,156	6,917
その他	4,684	4,695
貸倒引当金	△13	△12
投資その他の資産合計	10,827	11,600
固定資産合計	35,446	37,229
資産合計	88,791	96,006

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,833	14,271
電子記録債務	460	893
短期借入金	4,449	6,047
未払法人税等	119	158
賞与引当金	630	306
製品回収関連費用引当金	1,044	1,044
その他の引当金	23	30
営業外電子記録債務	138	125
その他	6,809	5,293
流動負債合計	22,509	28,171
固定負債		
社債	1,848	2,123
長期借入金	11,567	10,907
退職給付に係る負債	1,418	1,329
その他の引当金	91	49
その他	2,657	2,881
固定負債合計	17,583	17,292
負債合計	40,093	45,463
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,939	10,939
資本剰余金	13,235	13,235
利益剰余金	26,351	25,268
自己株式	△1,726	△1,726
株主資本合計	48,801	47,718
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,353	1,843
繰延ヘッジ損益	—	△4
為替換算調整勘定	△3,766	△2,006
退職給付に係る調整累計額	△101	△103
その他の包括利益累計額合計	△2,514	△270
非支配株主持分	2,410	3,095
純資産合計	48,697	50,542
負債純資産合計	88,791	96,006

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成27年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)
売上高	7,450	12,817
売上原価	4,806	8,920
売上総利益	2,644	3,896
販売費及び一般管理費	3,679	4,284
営業損失(△)	△1,035	△388
営業外収益		
受取利息	9	55
受取配当金	33	40
不動産賃貸料	20	21
為替差益	5	178
持分法による投資利益	—	97
その他	28	68
営業外収益合計	97	462
営業外費用		
支払利息	39	126
デリバティブ評価損	—	82
持分法による投資損失	381	—
その他	55	81
営業外費用合計	476	290
経常損失(△)	△1,414	△216
特別損失		
固定資産処分損	3	1
特別損失合計	3	1
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,417	△218
法人税等	△289	18
四半期純損失(△)	△1,127	△236
非支配株主に帰属する四半期純利益	8	345
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,135	△581

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成27年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)
四半期純損失(△)	△1,127	△236
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	366	489
繰延ヘッジ損益	—	△4
為替換算調整勘定	△18	2,142
退職給付に係る調整額	△2	△1
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,049	△42
その他の包括利益合計	△704	2,582
四半期包括利益	△1,832	2,346
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,839	1,661
非支配株主に係る四半期包括利益	7	684

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年10月1日至平成27年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	農薬	農薬以外の 化学品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	6,379	701	7,081	369	7,450	—	7,450
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	—	0	190	190	△190	—
計	6,380	701	7,082	559	7,641	△190	7,450
セグメント利益又は損失(△)	△1,036	107	△929	69	△860	△174	△1,035

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、造園緑化工事、スポーツ施設経営、不動産の賃貸、物流サービス、農薬残留分析ほかを含んでいます。

2 セグメント利益の調整額△174百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△164百万円、未実現利益の調整等△10百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っています。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年10月1日至平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	農薬	農薬以外の 化学品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	11,745	672	12,417	399	12,817	—	12,817
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	0	1	171	173	△173	—
計	11,745	673	12,419	571	12,990	△173	12,817
セグメント利益又は損失(△)	△392	124	△268	72	△196	△191	△388

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、造園緑化工事、スポーツ施設経営、不動産の賃貸、物流サービス、農薬残留分析ほかを含んでいます。

2 セグメント利益の調整額△191百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△191百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っています。